



think the future from hitoshi watanabe lab.

●異国の文化は心のリフレッシュ

●11月25日から12日間、初めての一人旅でスイスとベルギーを訪れました。この旅の主な目的は、現地に移住して生活している私の研究室の卒業生たちを訪ねること。そして、時期がちょうどクリスマスマーケットの開催時期と重なっていたため、その風景を楽しむことでした。

それでも、クリスマスマーケットは盛況で、ホットワイン（グリューワイン）を片手に家族や友人と談笑する人々の姿が印象的でした。特に寒さが厳しい夕方以降、マーケットの明かりが一層鮮やかに感じられ、人々の笑顔が街を温かく彩っていました。

●クリスマスマーケット巡り：多彩な冬の祭典

スイスではチューリッヒ、モンレー、バーゼル、さらにフランスのコルマル、ベルギーではブリュッセル、アントワープ、ブルージュを訪れました。それぞれのマーケットには地域ごとの個性があり、まるで文化の違いを間近に感じるような体験ができました。

●卒業生たちとの再会

今回の旅では、観光よりも「暮らし」に触れることを重視しました。訪ねた卒業生たちは、各国での生活に馴染みながら、時には異国での挑戦を楽しんでいる様子が伺えました。その一人ひとりとの時間は、私にとって貴重で、彼女らの選んだ生活や価値観を学ぶきっかけとなりました。

たとえば、スイスのモンレーではアルプスを背景にした壮大な雰囲気が楽しめ、一方でベルギーのブルージュでは中世の街並みとそのままマーケットの装飾の一部となり、まるで絵本の中に迷い込んだような感覚でした。

●旅の感想：異国の地で感じた冬の温もり

この一人旅を通して、異国の冬の過ごし方や人々の暮らしに触れることができました。クリスマスマーケットでの賑わいや、訪れた卒業生たちとの交流を通して、ただ「見る」だけでなく「感じる」旅の楽しさを味わいました。この経験は、私に新しい視点を与えてくれたと思います。

●寒い冬を楽しむ人々

どちらの国でも、天候は快晴とは言えず、寒く曇りがちな日々が続きました。

初めての一人旅 スイスとベルギー

渡辺仁史

News Paper
第26号
2025.01.01



卒業生の暮らすスイス・ヌーシャテルの街を歩く。ついディテールが気になる。